

標 題 | 有機ひろげる米づくり実証ほでトロトロ層の確認と揺動式除草機の実演会を開催

(ダイジェスト)

6月13日、松江市玉湯町の農事組合法人やないの有機ひろげる米づくり実証ほにおいて、トロトロ層の確認と揺動式除草機の実演会が開催されました。トロトロ層が形成され、雑草がかなり少ない状況で、今年こそ収量も品質も向上することが期待されます。

6月13日、松江市玉湯町の農事組合法人やないの有機ひろげる米づくり実証ほにおいて、トロトロ層の確認と揺動式除草機の実演会が開催され、(農)やない及び市内外の生産者、県関係含め、総勢30名が集まりました。

当実証ほでは、機械除草の実証ほを平成29,30年度の2カ年実施してきましたが、欠株が多く、雑草も残り、収量が少ない状況が続いていました。そこで、機械除草に頼らない、米ぬか散布によりイトミミズを増やし、トロトロ層を発達させることで抑草する方法の実証ほに取り組むことにしました。また、これまではコシヒカリでしたが、収量と品質が安定しやすいきぬむすめと品種転換も図りました。

実証ほでは、3月1日に粒状の米ぬか(商品名:米の精)をライムソーで120kg/10a散布し、3月8日に耕起して入水し、早期湛水を行いました。その後、荒代は4月13日に、植代は5月25日に行い、田植えは5月29日に行われました。また、播種は4月17日に行い、5月1日までハウス内で、その後水田で育苗され、4.5葉の成苗を移植しました。

実演会は、有機農業グループの植田主任のあいさつにより開会し、(農)やないで事務局をされている勝部さんから取り組み紹介の後、農業技術センター技術普及部の伊藤農業普及員がトロトロ層による抑草技術の説明と篩別(しべつ)法によるトロトロ層の確認、同センター栽培研究部の安達専門研究員から揺動ブラシ式歩行型除草機の説明があり、雑草がない状況ではありましたが、その実演が行われました。

農業技術センター技術普及部によると、植代前のトロトロ層の厚さは11.3mmで、今回確認されたのは16mmとなっていました。また、昨年でもでしたが、何故か植付後しばらく水が茶色く濁っていました。そのためか除草機を走らせた前年より雑草がかなり少ない状況で、今年こそ収量も品質も向上することが期待されます。

当普及部では今後も農業技術センター等関係機関と連携し、実証ほでの調査、栽培指導を継続するとともに、有機農業の取り組みを拡げるべく、積極的にPRしていく考えです。



実演会の参加状況



篩別法による確認



上の方がトロトロ層